

2026 年 9 月 30 日

株式会社マツモト

AI 基盤のキャリア形成支援ツール「むねしげくん」実証導入（POC）のお知らせ ～個人の経験価値をデジタル資産化する「次世代 DAT 構想」を教育分野で推進～

株式会社マツモト（本社：福岡県北九州市、代表取締役：松本大輝、以下「当社」）は、AIを活用して学生一人ひとりの就業体験や日々の成長プロセスを記録・可視化するキャリア形成支援ツール「むねしげくん（※）」の、2026 年 10 月より高等学校等において実証導入を開始することをお知らせいたします。

本取り組みは、当社が推進する「次世代 DAT 構想」における教育分野の核となる事業であり、将来的には個人の「経験」や「成長」といった無形価値をデジタル資産として蓄積・可視化し、進路選択やキャリア形成につなげる新たな教育プラットフォームの構築を目指してまいります。

※キャリア形成支援ツール「むねしげくん」とは

「むねしげくん」は、生徒がスマートフォンや PC から日々の就業体験、気づき、挑戦、失敗などのエピソードをテキストや画像で記録し、AI を用いて振り返りや成長の可視化を促す Web アプリケーションです。



（注）画像は開発中のイメージです

●主な機能・特徴

感覚的な記録：	挑戦したことや興味の芽生えなどを自身の言葉や写真で直感的に投稿
AI による内省支援：	蓄積されたデータから AI が振り返りを促し、「体験から何を学んだか」を整理・可視化
「わたしの本」の生成：	記録された成長の軌跡をアルバム形式で集約し、自己理解を深化
教員向けサポート：	生徒の非認知能力や潜在的な強みを把握し、より質の高い進路・キャリア指導に活用

1. 導入の背景と社会的課題

文部科学省の調査によると、小・中・高等学校における不登校児童生徒数は約 42 万人に達しています。（※ 1）

近年、教育現場ではテストの点数等による学力評価にとどまらず、課外活動、就業体験、地域活動など多様な体験を通じた総合的な成長を評価する重要性が高まっています。特に通信制高校の生徒や不登校経験者など、従来の枠組みでは能力や個性を捉えにくかった生徒に対するキャリア支援のニーズが急速に拡大しています。

※ 1 文部科学省「令和 6 年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について」

2. 当社の狙い：成長の記録から「経験資産」の創出へ

当社はこれまで長年にわたり、卒業アルバム事業を通じて「人の歩みを記録する」価値を提供してまいりました。当社が 2026 年 1 月より推進している「次世代 DAT 構想（AI・ブロックチェーン技術等を活用し、無形価値をデジタル化して新たな社会的価値へつなげる構想）」において、将来的に本人の同意のもと、蓄積されたデータと企業や高等教育機関との最適なマッチングを行うなど、社会循環型プラットフォームへと発展させる方針です。

本ツールは評価基準を設定する事や見直すことではありません。「評価対象となる経験そのものを増やし、自身による気づきを増やす」ことを目指します。従来型の e ポートフォリオ等の「学習・成果の保存」を超え、挑戦・失敗・協力・気づきといった定性的な「プロセス」を継続的にデータ化します。個人の価値観や行動特性の変遷を記録することで、従来の資格やテスト結果だけでは伝えきれなかった個人の価値を「デジタル上の将来的な資産（経験資産）」へと昇華させてまいります。

3. 今後の展望：

本実証で得られた知見をもとにプロダクトのブラッシュアップを図り、通信制高等学校をはじめとする全国の教育機関への水平展開を目指してまいります。

■ 企業情報

【株式会社マツモト】

所在地：福岡県北九州市門司区社ノ木 1-2-1

代表者：松本 大輝

企業公式サイト：<https://www.matsumoto-inc.co.jp/>

■ 本件に関する問い合わせ先

株式会社マツモト I R 推進準備室 壇 道彦 press-faq@matsumoto-inc.co.jp